

HOW TO PLAN ECO EVENT

エコイベントの進め方 BOOK



環境省

財団法人 地球・人間環境フォーラム

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-18-1虎ノ門10森ビル5F

www.gef.or.jp/reuse/

リユース食器を使って、
身近なイベントからごみを減らそう！

リユースシステム 導入大作戦!!

Do you know REUSE SYSTEM?



HOW TO PLAN ECO EVENT

地域のお祭りやバザー、野外イベントなどが終わったあと、大量のごみと悪戦苦闘したことはありませんか。なんとかごみの出ないイベントにしたい、使い終わったコップやお皿は洗って何度も使いたい、出してしまったごみは環境に良い方法でリサイクルしたい — そんな思いから全国でリユース食器を使って環境に配慮したイベントを行う人たちが増えています。

まず手始めに、使い捨ての容器をやめて、繰り返し洗って使うリユース食器を使ってみるのはいかがでしょうか。主催者の皆さんが積極的にイベントで環境対策を行うことで、参加者一人ひとりに日常生活を振り返り、循環型社会を築いていくきっかけを与えることができます。

身近なイベントから使い捨てのライフスタイルを見直してみませんか。

CONTENTS

導入準備編

リユース食器の基礎知識

- リユース食器とは何か? P.3
- リユース食器を使うと.. P.3
- どんなイベントに使用されているの? **事例紹介** P.4
- リユース食器ネットワークの設立 P.5

実践編

P.6

4つのステップから最適なものを選択

- ① 食器準備 P.7
- ② 洗浄 P.8
- ③ 回収 P.11
- ④ 周知 P.12

付録

リユース以外にもこんな方法があります。
P.14

- マイ食器持参
- エコ容器
- 分別回収・リサイクル

リユース食器の基礎知識 [導入準備編]

◎ リユース食器とは何か?

何度も繰り返し洗って使用できる(リユースできる)食器で、使い捨ての紙コップやプラスチック容器の代わりに使います。

リユース食器には特別の規格があるわけではありませんが、何度も繰り返し使えて、落としても破片が飛び散ったり、鋭角的に割れたりしない素材が適切です。お皿やお碗などにはメラミン素材のものが、カップやスプーンなどには柔軟性に富むポリプロピレン性のものが多く使われています。



◎ リユース食器の使い方

販売

返却

洗浄・乾燥



飲食物等リユース食器に入れて販売
(おかわりは、同じ容器を再使用)



食後、お客さんに食器を返却してもらう



返却されたカップは洗って、乾燥。

◎ リユース食器を使うと..

- ➡ お祭りや野外イベントで出るごみの量を減らせます。
- ➡ 使い捨てのライフスタイルを見直すきっかけを参加者に与えます。

◎ リユース食器活用事例 in KYOTO

早くからリユースの取り組みが始まっている京都の例を見てみましょう。

幼稚園で...

京都市伏見区のあけぼの保育園の夏まつりでは、ジュースやビールを缶やペットボトルだけでなく、サーバーからリユースカップを使用し提供しています。幼稚園の積極的な取り組みは園児にも受け入れられ、「生きた環境教育」につながったと評判になっています。

地域のお祭りで...

京都市左京区の「左京区民ふれあい祭り」では、飲食・飲料すべてリユース食器を導入。11:00～15:00と短い開催時間の間に約8,000人(例年実績)もの集客があるこの祭りでは、飲食物が売れる時間は12:00～14:00に集中。その間に約1,800個ものリユース食器を洗浄しました。前年まで90Lのごみ袋で100袋以上あったごみの総量は6袋となり、リユース食器システムを導入することで大幅な廃棄物の削減につながることが立証されました。

祇園祭で...

日本三大祭りの一つとして有名な「祇園祭」の一番の山場となる山鉾巡行にて、山鉾曳き手ボランティアへの給水ポイント各所でリユースカップを導入し、お茶を提供しました。晴天に恵まれ、給水ポイントでは約1,600杯のお茶が配布されました。例年は紙コップを使用していることから、約1,600個の紙コップを削減したこととなります。曳き手ボランティアの反応も良く「紙コップよりおいしく感じる」と、好評でした。

◎ リユース食器ネットワークの紹介 <www.reuse-network.jp>

事例を紹介した京都地区以外にも、リユースの取り組みは全国各地で広がっています。北海道から沖縄まで、NPOや公共機関、大学の環境サークルなどリユースに取り組む団体が各地の拠点となり、リユース食器ネットワークが結成されました。

各拠点には「これはリユースカップです。使った後は捨てずにご返却をお願いします」というメッセージの書かれた共通カップを標準的に保有するほか、食器やお箸なども所有しています。また、リユース食器の貸し出しや環境に配慮したイベントの計画・運営のアドバイスにあたっています。

リユース食器に興味をもたれた方、リユース食器をイベントで実際に使ってみたい団体は、お近くのリユース食器ネットワーク参加団体等のサポートを受けながら、次ページから始まる実践編の手順に従って、リユース食器を使ってみましょう。(団体連絡先はP.14～15)

● リユース食器ネットワーク団体の所在地



実際に使ってみよう!

リユース食器を導入するためには、**食器の準備** ➡ **洗浄場所の確保** ➡ **回収システムの整備**、さらにそれぞれの**運営に関わるスタッフ**が必要です。リユース食器導入までの手順をどのように進めればいいのか、あなたにあった手順を紹介します。

Q リユースシステムを自分たちの手で運営してみたいですか?

➡ **ぜひやりたい!**

自分たちの手でなんとかリユースシステムを運営してみたいという団体は、次ページから始まる3つのステップの中で適切な方法を選択して、リユース食器を導入してみましょう。(次ページへ ➡)

➡ **難しそうなので、不安...**

自分たちの手で準備を全てするのは難しい...という団体はA SEED JAPAN(東京)や環境対策支援便RE-ECO(京都)などに相談されてみてはいかがでしょうか。食器の準備からスタッフの募集、当日の運営までトータルでコーディネートを行っています。実施費用はイベントの性質や規模によります。

A SEED JAPANはごみの排出を未然に防ぐ方法として「ディッシュ・リユース・システム」を行っています。これは、来場者に自分たちの使用したリユース食器を古布できれいに拭いてから返却してもらい、返却された食器はA SEED JAPANのスタッフが、事前に募って研修を受けたボランティアとともに洗浄、乾燥を行い再び来場者にリユース食器を貸し出す流れでオペレーションを行います。同時に、この取り組みの成果として、「使い捨てされずにリユースされた食器の数」を掲示し、来場者へ効果的なPRを行います。

➡ **リユース以外にもこんな方法があります (P.12へ)**

STEP.1 食器の準備をしよう!

購入? レンタル?

リユース食器を導入する第一歩は食器の準備です。購入するのか、レンタルするのか、イベントの頻度と期間、費用から選択しましょう。

STEP.1 イベント開催の頻度はどれくらいですか? また期間は?

➡ **長期間or開催頻度多い** **購入**

イベント頻度が多い団体や長期間にわたって行う団体は、リユース食器を独自に製作・購入されることをお勧めします。価格は大きさ、印刷に使用する色、発注個数によっても異なりますが、1個100円以下のポリプロピレン(PP)製のリユースカップや200円程度のリユース食器が出回っています。また、リユース食器を購入した場合、衛生的に保管できる場所も必要になりますので、予算と保管場所の有無も考えながら食器を用意しましょう。

➡ **短期間or開催は一回きり(とにかく一回使ってみたい)** **レンタル**

とにかく一度リユース食器を使ってみたいという団体や、単発のイベントであったり、期間が短い団体、食器を保管する場所がないという団体は、食器をレンタルしてみましょう。P.5で紹介したリユース食器ネットワークの拠点団体のように、食器の貸し出しを行っている団体が全国各地にあります。利用料金の設定は団体によりさまざまですが、1個10円から。直接搬入・搬出ができない場合は着払いでの受け取りも可能です。また、洗浄費込みの有料レンタルを行っているところもあります。(団体連絡先はP.14~15)

Q リユース食器はどれくらい準備すればいいの?

当日食器を一回使いきりの場合は、予想される飲食数に見合う個数の食器を最低でも用意しなければなりません。一方、洗って使いまわす場合には、飲食ピークの時間帯に想定される飲食数の対応ができる個数の食器を最低限準備しましょう。また、使用する食器が増えれば増えるほど、洗浄・乾燥に時間がかかります。回転速度の低下により食器が足りなくなる恐れがありますので、食器は多めに準備しましょう。